

2017 年度 自己点検・自己評価結果について

2018 年 4 月

関西看護専門学校 看護課程看護学科

## 目次

はじめに

1. 2017年度自己評価結果	1
2. カテゴリーごとの総括評価	
I. 教育理念・教育目的	2
II. 教育目標	2
III. 教育課程経営	2
IV. 教授・学習・評価過程	2
V. 経営・管理過程	2
VI. 入学	3
VII. 卒業・就業・進学	3
VIII. 地域社会国際交流	3
IX. 研究	3

おわりに

はじめに

本校は社会福祉法人 枚方療育園を設置主体とした看護師養成所であり、社会福祉に貢献できる創造性ある看護実践者を育成することを目的として1975年に附属施設として看護師養成の教育施設が開設された。現在まで3000名を超す卒業生を輩出している。そうした質の高い看護師を養成するためには看護師養成所としての「教育水準の維持・向上」と「創意工夫のある教育の追及」を図ることが求められる。そのためには「品質の保証の仕組み」を定期的に運用する必要がある。専修学校の学校評価が義務づけられて以降、本校では学校評価の必要性を認識し、2010年に規程を設け、自己点検・自己評価委員会を立ち上げ取り組んできた。今回、自己点検・自己評価を実施し、総括評価したので報告する。

### 1. 2017年度 自己点検・自己評価結果

表1. 2017年度 自己点検・自己評価結果

3点満点

I. 教育理念・教育目的	2.44
II. 教育目標	2.54
III. 教育課程経営	2.41
IV. 教授・学習・評価過程	2.44
V. 経営・管理過程	2.22
VI. 入学	2.08
VII. 卒業・就業・進学	1.92
VIII. 地域社会/国際交流	2.03
IX. 研究	2.4



## 2. カテゴリーごとの総括評価

### I. 教育理念・教育目的

教育理念は学生がわかりやすく印象に残る表現とし、教育目的は社会福祉に貢献できる看護師の育成といった目的は学校教育法と看護師養成所の指定規則に則っている。これらの内容を学則・学校案内・学生便覧等に明記し、学生及び教職員・講師・実習施設・関連機関等に周知し、その実現に努めている。今後は教員の教育活動に対する指針となるだけでなく、学生の学習活動の指針となることができるように教育にあたりたい。

### II. 教育目標

教育目標は教育理念・目的に基づいて設定し、学年別教育目標も明記することで到達度を示しているが、今後は成長保障や継続教育の考え方も意識していきたい。教育目標と実施した教育内容との整合性は年度ごとに確認し網羅できているが、今後は教職員の共有のみならず、学生への到達度を伝えることで学習への動機づけとしていきたい。

### III. 教育課程経営

教育課程の考え方に関する全体共有を図るとともに、単位認定と評価方法に関する規程の便覧への明記と具体的な評価方法はシラバスにて提示しており、履修科目の配列は毎年、見直しを行い、次年度に反映している。また、臨地実習においては評価規準を明文化し、学生・指導者・教員で共有し、一貫した学習（教育）活動を行っている。さらに、委託実習施設に対する本校の教育理念等の理解が得られるように定期的に会議を開催し、意見交換している。さらに、学生からの授業評価・実習指導評価を受けることで、より良い教育活動の改善に取り組んでいる。今後は、時代のニーズに合ったより良い教育を目指して、教育課程を改善できるように取り組みたい。

### IV. 教授・学習・評価過程

授業形態と授業方法、評価方法は学生便覧およびシラバスに明記し、実践している。教育方法の選定については自己研鑽に委ねるところが大きいですが、平成 28 年度より導入している教員の研究授業への取り組みとその成果に期待したい。今後、自己点検・自己評価結果をもとに改善案を見出し実施する、さらに、そこで得た知見をカリキュラム構築に活かすことができるよう取り組みたい。

### V. 経営・管理過程

養成所の設置、教育理念・教育目的、教育課程経営、教育評価を学生便覧に明文化し、学生および教職員が把握できるようにしている。学則および諸規定に業務分掌や各会議の位置づけを明記しており学習環境の調整を図っている。さらに年度ごとの事業計画と予算は教職員の合意形成を得ている。今後、新校舎の建築が予定されていることから、より良

い教育が実践できる環境を整備したい。また、そうした学習支援に加え、図書室の開室時間の拡大、スクールカウンセラーの雇用など、教職員が連携して学生生活の支援を図っている。保護者の方々には学校行事ごとに学校生活を説明する機会を設け、本校の教育への御理解と支援を頂いている。今後、自己点検・自己評価をもとに学校改善・教育改善を図ることができるように、中長期的な目標を見据えた教職員の体制づくりを強化したい。

## VI. 入学

適宜、受験資格の見直しと入試種別の評価を行い、より質の高い新入学生の確保に尽力している。今後はホームページの活用や高等学校との連携、進学相談会等によって広報活動に努めていきたい。

## VII. 卒業・就業・進学

卒業時の到達度としての国家試験の合格状況の継続的な把握を行うとともに、専門職業者としての技術力を技術経験項目の実施状況にて確認している。今後は卒業後の状況を把握することに努め、より良い教育活動に繋げたい。

## VIII. 地域社会/国際交流

学年別目標にてボランティア活動を推進しており、法人内だけではなく地域に向けての活動も行っている。また、国際的視野を育む学科目を設定し、希望者には海外研修の機会を設けている。今後は、そうした海外研修における教育内容を明確に設定することで国際的な視野を育みたい。

## IX. 研究

学生および教員の研究活動を支援し、実施する土壌を育んでいる。今後も論理的な能力の向上を図ることができるように尽力したい。

## おわりに

人口動態が大きく変化する中、医療の高度化と専門化に伴い、高度な能力が看護師に求められる社会になってきている。本校の教育理念である「やさしい手と確かな目で、大切な命を護る人を育成する」とした教育理念のもと、今後も看護基礎教育に尽力するとともに社会福祉に寄与できるように今回の評価結果を活用し、学校改善を図っていきたい。

2018年4月  
関西看護専門学校  
自己点検・自己評価委員会